

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市洪川町三丁目5番地7
 (洪川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

市立保育園年長組けん玉遊び



平成二十三年十一月七・八日
 本地ヶ原児童館と本地ヶ原児童館
 保育園でけん玉道場を開設してからの参加
 人員数が三〇〇人を超え突破いたしました。
 何とも永く継続活動する事が必要なの
 です。

保育園の先生が園児の
 成果を教えてくれました。
 いままで中途半端な子
 がしつかり最後迄しつかり
 何事も行なうようになった
 子供がけん玉で遊ぶ
 時間は十五分

おれが積極的
 行動をしたから
 できた。けん玉はけん
 玉が本来は自分
 につかうもの。
 けん玉は簡単なま
 え難かしいから



▲本地ヶ原
 児童館での
 けん玉道場。
 本地ヶ原児童館
 児童クラブ

保育園
 子供達にもっと自然
 との対話を感じさせる
 場を作ってあげること
 が出来なにか。
 これからの学校教育は
 パソコン教育にほとんど
 を使う教員が増える。
 しかし子供達は画一的
 な教育より、アソビ的
 生の体験教育が必要
 なのだ。
 みんなもこども達の
 遊びを応援しよう。
 リズムで遊ぶ。面白
 心な遊ばは自由心
 を育て要素なのだ。

